

花高同窓会会報



第124号

発行 令和4年11月27日

秋田県立花輪高等学校
同窓会事務局

〒018-5201 鹿角市花輪字明堂長根12
TEL0186-23-2126 FAX0186-23-2137
URL <http://www.ink.or.jp/~hanakoudousou/>

印刷 (株)北鹿新聞社



秋田県、鹿角市、 小坂町と連携して

花輪高等学校同窓会長
関 厚(二期)



一 本校の歴史と伝統
花輪高等学校は(一)本校は(二)本校は(三)本校は(四)本校は(五)本校は(六)本校は(七)本校は(八)本校は(九)本校は(十)本校は(十一)本校は(十二)本校は(十三)本校は(十四)本校は(十五)本校は(十六)本校は(十七)本校は(十八)本校は(十九)本校は(二十)本校は(二十一)本校は(二十二)本校は(二十三)本校は(二十四)本校は(二十五)本校は(二十六)本校は(二十七)本校は(二十八)本校は(二十九)本校は(三十)本校は(三十一)本校は(三十二)本校は(三十三)本校は(三十四)本校は(三十五)本校は(三十六)本校は(三十七)本校は(三十八)本校は(三十九)本校は(四十)本校は(四十一)本校は(四十二)本校は(四十三)本校は(四十四)本校は(四十五)本校は(四十六)本校は(四十七)本校は(四十八)本校は(四十九)本校は(五十)本校は(五十一)本校は(五十二)本校は(五十三)本校は(五十四)本校は(五十五)本校は(五十六)本校は(五十七)本校は(五十八)本校は(五十九)本校は(六十)本校は(六十一)本校は(六十二)本校は(六十三)本校は(六十四)本校は(六十五)本校は(六十六)本校は(六十七)本校は(六十八)本校は(六十九)本校は(七十)本校は(七十一)本校は(七十二)本校は(七十三)本校は(七十四)本校は(七十五)本校は(七十六)本校は(七十七)本校は(七十八)本校は(七十九)本校は(八十)本校は(八十一)本校は(八十二)本校は(八十三)本校は(八十四)本校は(八十五)本校は(八十六)本校は(八十七)本校は(八十八)本校は(八十九)本校は(九十)本校は(九十一)本校は(九十二)本校は(九十三)本校は(九十四)本校は(九十五)本校は(九十六)本校は(九十七)本校は(九十八)本校は(九十九)本校は(百)

年(一九二六)に設立され「誠実友和 創造 英気」を校訓として域社会のみならず国際社会に対応できる有為な人材の育成を目指し卒業生は一八、六〇〇余名を数えます。(一)鹿角・北東北の中心鹿角は岩手県、青森県との文化交流地であり大湯環状列石、大日堂舞楽、花輪囃子、毛馬内盆踊など世界的に評価される歴史と文化・芸術のまちでもあります。さらに十和田八幡平国立公園も世界的な風光明媚な地域であります。(二)教育体制・陸上・スキー、吹奏楽、サンショウウオの研究などの全国的な活躍は、全国を代表する先生の指導と、それに応えた花高生の活躍が大きいのではないのでしょうか。校歌作詞の村木清一郎先生は万葉集研究の第一人者となり、シダレカツラの瀬川宗吉先生は海藻学の最高権威とされました。籠屋留太郎先生の二ホンザリガニ研究も注目を浴びています。

二 課題解決には秋田県、鹿角市、小坂町との連携
統合校について、多くの意見が同窓会にも寄せられています。通学の手当や交通機関の充実、鹿角

学や郷土芸術の教育、外国語研修、工業研修棟による科学的教育の充実、学生寮の建設、陸上競技、スキー競技など青森、岩手県との交流、道路などの整備、売店・食堂の設置などがあります。

これらは三校の同窓会などが一致協力して秋田県教育委員会にお願いしつつ、鹿角市や小坂町の支援を得ていくことが必要です。統合校の基本理念「グローバル化の時代に対応できる広い視野と、持続可能な地域社会づくりへ参画しようとする高い志をもち、多様な人々と協働して未来を切り拓くたくましい人間の育成」に同窓会も全力で取り組んでまいります。

新任挨拶

秋田県立花輪高等学校
教頭 今川 浩子



平成二年に新任教諭として採用された今川浩子(浩子)は、これまで二度目の赴任となります。啄木も「青垣山をめぐらせる天さかる鹿角の国」と詠んでいるように風光明媚で温かい土地柄と昔と変わらぬ生徒の気質に触れ、嬉しく思うと同時に深い縁を感じざるを得ません。

本校が目指す生徒像は、チャレンジし続ける「花高生」、自ら考え、判断し、行動する「花高生」、互いの多様性を認め協働する「花高生」です。日々の探究型・協働型の学習はもちろんのこと、部活動や学校行事さらには地域行事やボランティア活動への積極的な参加等、「文武両道」を目標に掲げ

ながら目指す生徒像を具現化するため、学校を挙げて教育活動に取り組んでおります。

いよいよ令和六年には鹿角小坂地区の三校が統合し、新たな学校が誕生します。地域及び県内外からも厚い信頼が得られるよう生徒、教職員が一丸となって一層精進してまいります。

同窓会員の皆様におかれましては、日頃から本校の教育活動に御理解、御協力いただき心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬ御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。

略歴
横手市出身。秋田大学卒業。

総会開催のご案内

日時:令和5年5月19日(金)

18:00~総会・講演会/19:00~懇親会

場所 ホテル茅茹荘

申込 学校事務局 ☎0186-23-2126

金曜日開催としました。

その時期になりましたら、案内をホームページ等に掲載しますので、お問い合わせの上ご参加ください。

速報!

開校式のお知らせ

令和5年10月21日(土)
予定で進めています。

詳細は随時ホームページでお知らせします。

OBOG 現役生 合同コンサート 『響』奏者募集

令和5年10月22日(日)コモッセにて

曲目 ガジベコフ
交響曲第2番、ハチャトゥリアン
交響曲第3番 シンフォニー・ポエム 他

現在、OBOGのみで56名参加希望です。Ob,Fg, Euph,St.Bが不足気味です。スタッフとしてのお手伝いも大歓迎です。

参加希望の方は hanawahibiki@gmail.com までご連絡ください。(現顧問高橋)



吉村 アイ (二期)

今年、三年ぶりに鹿角の夏祭り「花輪ばやし」が開催された。コロナ禍で休んでいた分、祭りの会場には若い家族と若者が繰り出し、久しぶりに活気が満ちあふれていた。ただ、コロナが収束したとはいえないので、年配の方は少ないような気がした。

鹿角市は今年、市制施行五十周年を迎え、記念行事が予定通り行われたことを喜ばしく思う。花輪高校は九十年行事を終え、百周年を目前にし鹿角郡市三校統合となるが、その歴史と伝統が統合校と共に次世代に受け継がれることになると思う。

支部だより

第26回花栄会総会・懇親会

4年ぶりの再会と出会いに感謝!

花栄会幹事長

根市 知宏(二五期)



新型コロナウイルス感染拡大の第六波から第七波の移行期にあつた七月三日

(日)、第二十六回花栄会総会・懇親会が学士会館にて開催されました。コロナ禍により、一昨年、昨年と二回にわたり計画の断念を余儀なくされましたが、昨年末から役員会で慎重に議論を重ねて、今回四年ぶりの開催にこぎつきました。当日まで猛暑日が続く、マスク着用や円卓人数制限など感染対策を施しての開催でしたが、参加者は七十七名と前回を上回り、初参加の五期井上タマさん、梅原好子さん、金子レイ子さんから七一期太田ななこさんまで、二世代会を超える同窓生が会場を埋め尽くしました。

総会では、石井政光会長の挨拶に続き、学校長の佐藤真之先生より、同窓生の関心事である鹿角小坂地区統合校に向けた取組や計画が紹介され、次いで、同窓会副会長の小田修さんから、公務のため欠席となった鹿角市長の関厚会長からのメッセージ紹介や今後の同窓会のお話がありました。続く小講演では、スキー部監督の大森敬一先生から、輝かしい花高スキー部の歴史についてスライ



ドにて紹介があり、次いで、大森先生の指導を受け、ノルディック複合スキー世界選手権団体で日本を優勝に導いた秋田テレビの小林範仁さん(五三期)から、二〇〇九年の金メダルを獲得した緊迫したレースなどユーモア交えた動画紹介があり、大きな感動と拍手が沸き起りました。関西支部長の坂本信雄さんの乾杯の発声で始まった懇親会では、太田ななこさんの民謡が披露され、民謡甲子園初代チャンピオンの素晴らしい歌声に、皆さん食事の手を止め聴き入りました。恩師として初めて花栄会にお招きした高木豊平先生・英子先生からは、心温まるスピーチや全国大会連続金賞獲得のブラスバンド部全盛期のエピソードをご披露いただき、初参加の佐藤文夫さんの絵画展示とスピーチ、田辺ヒサ子さん、安保朗さんからもPRスピーチをいただきました。宴もたけなわとなり、さいたま市消防音楽隊長の阿部和博さんの指揮により、副幹事長の高杉正さん率いる鹿角ブラス!!の平成卒メンバー八名による若々しい楽曲演奏が披露され、最後に、花輪高等女学校校歌「愛の花輪」及び花輪高校校歌を斉唱し、全員での記念撮影ののち、三時間半にわたる総会・懇親会が名残惜しくも幕を閉じました。

三校統合を一年半先に控え、二年に一回開催してきた東京支部としての花栄

新校誕生前夜の花栄会に参加して

阿部 淳(七期)



新型コロナウイルスは今なおくすぶり続けておりますが、先ずは第二十六回花栄会総会

が二〇一八年以来となる開催が実現できて、大変喜ばしく思います。母校の統合問題で揺れ、ワクチン接種に振り回されて、集会の制限や移動の自粛など、困難の重なる中で開催には、大変ご苦労をさされてきた役員の皆様方には、心より感謝いたします。本会は、今後支部ではなく、独立した創立時の鹿栄会の姿に戻って、今のように集えることが望ましいように思います。

長く続いた私どもの「七期会」は、初期より田村裕子さん、宝田さん、そして籠屋さんと、学年幹事として協力してきました。会の方は、二〇一四年に八十代を前に幕を下ろし、現在は「ミニ七期会」として十名前後でランチタイムを楽しんでおります。今回、そのうち九名が参加を表明うち八名の参加となり、実に二年半ぶりの対面となり、花栄会のおかげととても喜んでおります。

四年前、籠屋さんと私二名だけで参加し、先輩の姿も見えず寂しい思いをしたのですが、今回は五期の方三名が参加され、その余りにかくしゃくとしたご様子に驚き

と嬉しさの念を隠すことができませんでした。後日、記念写真が届き、友に送るつもりで拡大コピーしてよく見たところ、一九四五年当時まで生まれ育った尾去沢時代の仲良しグループで、高校二・三年同級生の友と、顔立ちが似ている方に気づき、同行した尾去沢の人であることが判明しました。なぜか、七十七年も前なのにその頃の記憶が鮮明に残っていました。卒業して上京後、彼とは会うことなく、七期会に参加することも残念ながらありませんでした。

目前に迫った三校統合による新校の誕生には祝福しますが、母校の名が消えるのも非常に淋しいことです。せめて、花栄会という心の拠り所の長く世に残ることを願います。

大野 勇志(二五期)



「花栄会」に最初に顔を出したのは、卒業して二十一年いや三十年後であった

か。懐かしいクラスメートから「あ、久しぶり!」と迎えられることとは憶えている。高二、高三と担任だった鈴木正一郎先生に会えたのは何年度の時だったか。迷惑のかけっぱなしだった苦しい思い出とともに恩師への懐かしさに胸が震えた。数学の谷内成治先生にも再

半世紀を超えた卒業生の思うこと

大野 勇志(二五期)



「花栄会」に最初に顔を出したのは、卒業して二十一年いや三十年後であった

か。懐かしいクラスメートから「あ、久しぶり!」と迎えられることとは憶えている。高二、高三と担任だった鈴木正一郎先生に会えたのは何年度の時だったか。迷惑のかけっぱなしだった苦しい思い出とともに恩師への懐かしさに胸が震えた。数学の谷内成治先生にも再

近年、花輪盆地はりんごに加え「北限の桃」など果樹の名産地として名を上げてきている。また史跡尾去沢鉱山は銅や金の採掘で長い歴史を持ち、特に日本の近代化や戦後復興を支えてきた鉱業の地でもある。新しい学園は工学系も含め専門性の高いカリキュラムなどで統合効果が図られるという。そこで学生徒たちはグローバルな視野を身につけていく情報発信の主要となるに違いない。

最後の花栄会総会・懇親会に参加して

佐藤 栄一 (二五期)



六月半ば、同期で花栄会幹事長の根市さんから、コロナ禍で四年ぶりの開催、しかも統合のため最後となる花栄会総会で役員の手伝いを頼まれました。

役員は同期が三人もいて、総会前の役員会では居並ぶ大先輩方や若いメンバー等と様々な打合せをする姿に、裏方の苦勞に頭が下がりました。とともに自分たちの時代から、若い世代に引き継ぎつつあることを実感しました。迎えた総会当日は盛会で、大し



た手伝いもできなかったのですが、コロナ禍にもかかわらず来賓も含めて約八十人の方が参集し、皆さんの母校を思う気持ちの強さが表れていました。

顔見知りの方は殆どいなかったのですが、ブラスバンドの後輩たちの演奏も聴けて、私がブラスバンドを始めるきっかけを作ったのだと大先輩の相馬清美さんにも会え、それだけでも本当に懐かしく感じられました。また、ノルディックスキー金メダリストの小林さん・恩師の大森先生の講演も素晴らしく、改めて花輪高校の伝統や歴史に誇りを感じました。

高校卒業の翌年、姉と私を女手一つで育ててくれた母を東京に呼び寄せたので、鹿角は遠い存在になっていましたが、花栄会では鹿角に帰ったかのような温かみがありました。最後に女学校と高校の校歌を歌う段では、青垣山が目前に迫り、女学校卒業生だった母が歌う姿を思い浮かべながら、皆と一緒に歌うのはこれが最後かもしれないと、感慨が込み上げてきました。

八月末、一〇一歳で大往生された大恩人の逝去の報を受けて、葬儀に花輪へとんぼ返りで帰った際、どこにも寄る時間は取れませんでした。通夜の後、受付を割って話し相手をしてくださいました。花栄会で歌ってくれた、民謡日本一のお嬢さんの父君です。故郷の温かさをまた実感しました。

翌日、鹿角を後にする時、青垣山が微笑んで見送ってくれているようで心が満たされていました。

鹿角小坂地区統合校(仮称)開校に向けた取組状況について

秋田県教育庁高校教育課 鹿角小坂地区統合校開設準備室 副主幹 岸 弘昭



令和六年四月開校予定の鹿角小坂地区統合校(仮称)の一期生となる生徒たちが、今年度、花輪、十和田、小坂のそれぞれの高校に入学してきました。それと同時に、鹿角小坂地区統合校(仮称)開設準備室が花輪高校内に設置されました。今後は、本準備室が中心となって、施設などのハード面と校名などのソフト面の整備・準備を進めていくこととなりますので、その概略を花輪高等学校同窓会の皆様にご紹介いたします。

ハード面について

施設等については、令和六年四月の使用開始に向けて、次のとおり工事に着手していきます。

「施設等の新築・改修予定一覧」

建物名称	整備内容	着工年度・完了年度
実習棟・講堂	新築	令和四年度・令和五年度
管理棟	改修	令和四年度・令和五年度
教室棟	改修	令和四年度・令和五年度
体育館棟	改修	令和五年度・令和六年度
セミナーハウス	改修	令和六年度・令和七年度
多目的屋内運動場	新築	令和五年度・令和六年度
外構整備等	改修	令和六年度・令和七年度

十月末現在、花輪高校の敷地内に実習棟・講堂・仮設校舎を、花輪高校の校舎脇(新たに取得した用地)に多目的屋内運動場を建築

していることにより、外観の様相に変化が感じられるようになってきました。なお、新築中の施設の主な用途は次のとおりです。

施設名称	主な用途
実習棟	産業工学科や普通科の未来創造コースにおける、選択科目等の授業で使用
講堂	社会人講師等による講演会や学年集会等で使用
多目的屋内運動場	体育や産業工学科の実習、冬期間や雨天時における部活動等で使用



実習棟・講堂建設の様子



多目的屋内運動場建設の様子

ソフト面について

「校名について」

統合校の校名の募集が九月三十日で終了しました。県内外の八八八人から一〇三一件、五七四件の応募がありました。公募受付終了後は、三校の生徒・PTA・学校関係諸団体の代表者による校名に関する意見交換会を開催するとともに、職員からの意見聴取を行うなどしながら、校名の「選考方針」と「校名を選考する際に考慮すべき事項」を作成しました。現在は、「選考方針」に基づき、いただいた御意見を参考にしながら、教育庁内で選考作業を進めているところですが、同窓会の皆様方には、令和四年十二月月上旬に、報道を通して、「校名(案)」の五候補をお伝えすることができると考えています。また、最終的な「校名(案)」は、令和五年二月上旬に公表し、同年六月の秋田県議会で正式決定される予定です。

「校章・校歌について」 決定方法等については、三校の生徒代表者、PTA代表者、学校関係諸団体の代表者等のご意見を伺いながら検討し、令和五年十二月頃までに公表したいと考えています。

鹿角小坂地区統合校(仮称)の様子

施設等の新築・改修の進捗状況や三校の様子等について、随時、鹿角小坂地区統合校(仮称)のウェブサイトにてアップロードしていきますので、ご覧ください。 ※ウェブサイトアドレス <http://www.hanawah.akita-pref.ed.jp/65/tougou-index.html>

※QRコード



校舎のイメージ図

会員の声

3年ぶりの花輪祭り

佐藤 孝(四二期)



令和四年八月、花輪の町に祭りが戻ってきました。今までと全て同じという訳にはいきませんが、

この中止の二年間、様々な変化があったと思います。感染症拡大という波は鹿角地域にも影響を及ぼし、大小問わず、地元の伝統行事は全て中止・縮小となりました。

「興味・関心が薄れる」心の変化を懸念しました。そんな危機感を覚える中、祭典の開催可否を決定する代表の方々は特に難儀したのだと思います。

私も経験したことがない中、今の状況に合った祭典を模索し、開催に向けて動き出した中では、寄付の減少、作業の担い手不足、子どもの減少、本番に参加する人数の確認、日々の感染対策等々、様々な問題に対応している各町内の若者会も難儀した事でしょう。

私は、町内の太鼓指導の他、保存部・町踊り保存会に籍を置いています。中止の二年間は、本番を迎えられないということ練習の熱量も若干下がり、張り合い



7/27(水) 全国大会に参加する実業部に激励金を贈呈



第十回記念同窓会ゴルフコンペ開催



がありませんでした。踊り・楽器共に、芸事を習得するために地道な稽古が必要です。技術を劣化させないように稽古してきた二年が過ぎ、今年、熱望していた開催が決定しました。

絶好のゴルフ日和に恵まれた九月三十日(金)、大館カントリークラブで第十回記念同窓会ゴルフコンペが開催されました。今年、十回記念として、同窓会員から推薦された同窓会員以外の方も参加できるようにしたところ、全部で十一人が参加されました。

令和3年度 同窓会決算書

Table with 6 columns: Item, Budget, Actual, Change, Description, Previous Year. Includes sub-tables for income and expenses.

令和4年度 同窓会予算書

Table with 6 columns: Item, Budget, Previous Year, Change, Description, Previous Year. Includes sub-tables for income and expenses.

花輪高校同窓会 令和三年度決算書、令和四年度予算書